

■田んぼの授業

令和8年5月20日（水）、本年度の水稲栽培に取り組む小学5年生を対象に、水稲栽培に関する授業が実施されました。

写真1 授業の様子（1）



写真2 授業の様子（2）



授業では、水稲栽培を支援するまちづくり協議会のメンバーが稲作の流れについて分かりやすく説明し、時にはユーモアを交えながら進められました。子どもたちは楽しみながら学習しており、今後の田植えや収穫に向けて期待が高まる内容となりました。

今後は、水稲栽培を支援するまちづくり協議会のメンバーが中心となり、子どもたちの活動を見守りながら、収穫まで継続的に指導および管理を行っていきます。

■施肥

令和8年6月10日（水）、田んぼにおいて施肥作業を行いました。

写真3 田んぼの様子



写真4 散布した下水汚泥肥料



写真5 肥料散布の様子（1）



写真6 肥料散布の様子（2）



田んぼは、前日の降雨の影響により、所々に水たまりが見られる状況でしたが、下水汚泥肥料を手散布により施用しました。直径6mmのペレット肥料を約1時間かけて散布した後、化学肥料を散布し、土を耕して均一にするため田起こしを行いました。

また、令和8年6月12日（金）には代かきを実施し、水を含んだ状態で田んぼを平らに整えることで、田植えに向けた準備が完了しました。

■田植え

令和8年6月16日（火）、田植え（品種：ヒノヒカリ）が行われました。

写真7 田植え前の田んぼ



写真8 手植え用の苗



写真9 田植機による田植えの様子



写真10 手植えによる田植えの様子



写真11 田植機による田植え後の田んぼ



写真12 田植機による田植え後の苗の状況



写真13 手植えによる田植え後の田んぼ



写真14 手植えによる田植え後の苗の状況



田植え当日の朝は雨が降っていましたが、その後天候が回復し、予定どおり田植えを行うことができました。当日は、水稻栽培を支援するまちづくり協議会のメンバーの指導のもと、田植機による機械植えと手作業による田植えの両方を実施しました。機械植えでは、5条植えの田植機により効率的に苗を植える様子を見学しました。

一方、手作業による田植えでは、目印となるロープ（田植え用ガイドロープ）を張り、ロープに付けられた印に合わせて苗を一本ずつ丁寧に植え付けました。子どもたちは、ぬかるんだ田んぼに足を取られながらも、互いに声を掛け合い、苗の向きや間隔に注意しながら意欲的に田植えに取り組んでいました。

田植え後の田んぼでは、植え付けられた苗がまっすぐに並び、丁寧に植え付けられている様子が見られました。

今後は、水稻栽培を支援するまちづくり協議会のメンバーが水管理や稲の生育状況の観察を行いながら、秋の収穫に向けて稲の生育を見守っていきます。